



空から見た荒川

～平常時と令和元年東日本台風(令和元年10月台風第19号)～



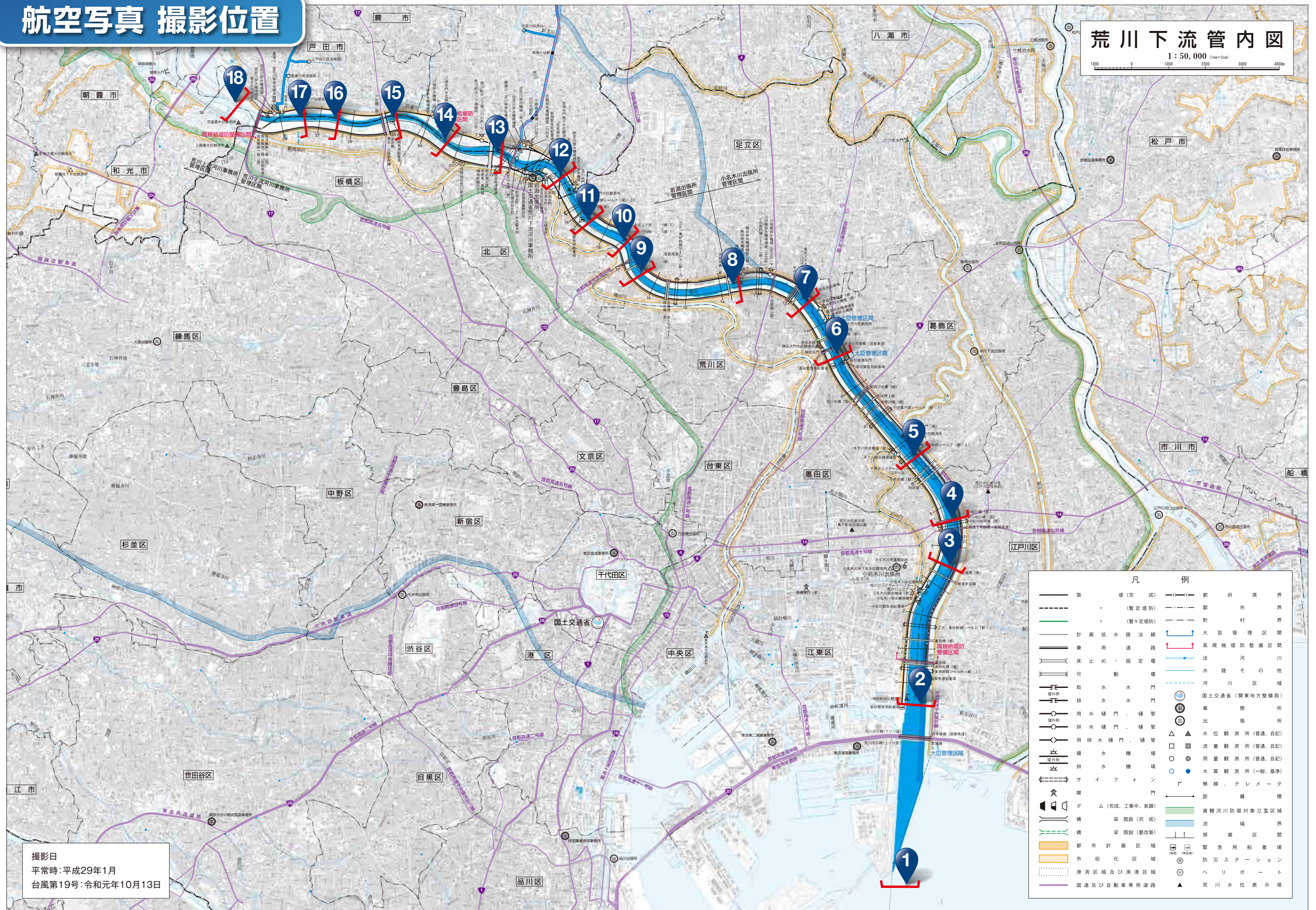
国土交通省
関東地方整備局 荒川下流河川事務所

■ お問い合わせ
国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL:03-3902-8745 URL:<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>



2020年3月作成

航空写真 撮影位置





3



平常時

4



平常時



台風第19号



台風第19号





9



平常時

10



平常時



台風第19号



台風第19号



13



平常時

14



平常時



台風第19号

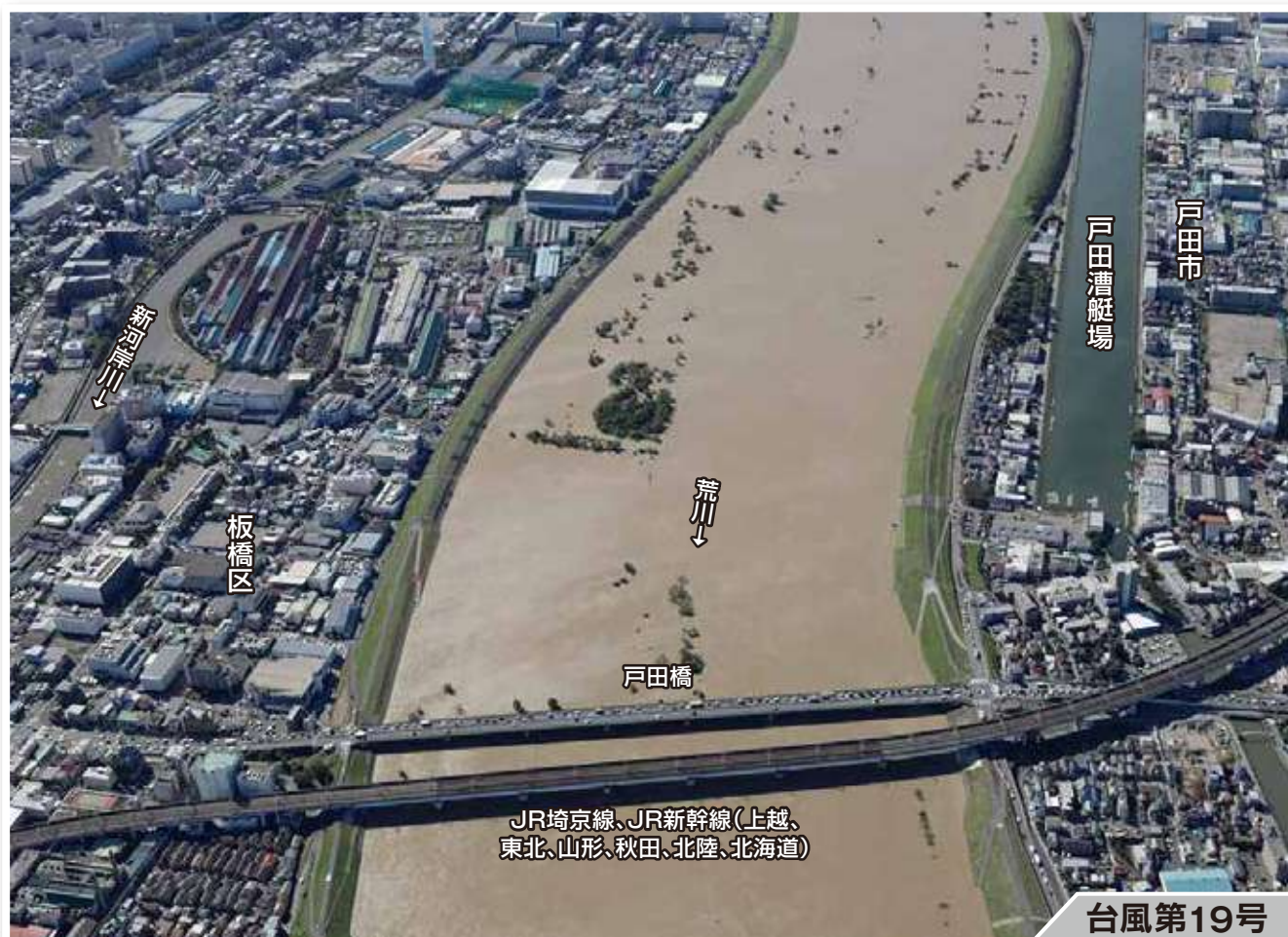


台風第19号

15



16



17



18



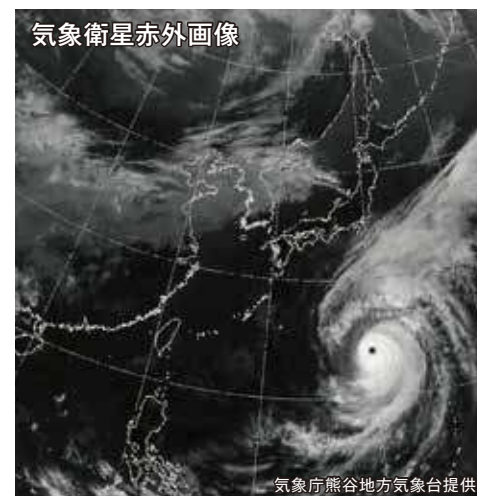
令和元年東日本台風 (令和元年10月台風第19号) 概要

10月6日南鳥島近海で発生した台風第19号は、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。

この台風19号の接近・通過に伴い、広い範囲で記録的な大雨や暴風を記録した。

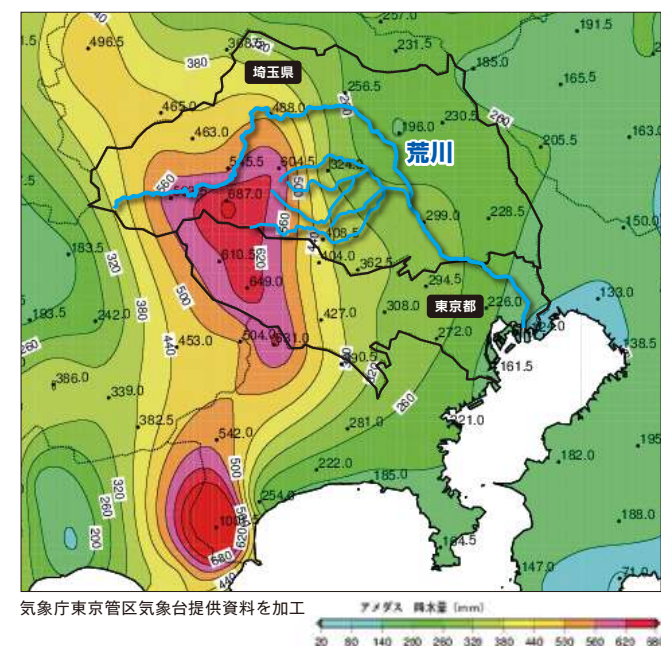
10日～13日までの総降水量は、神奈川県箱根で1,000ミリに達するなど、関東地方の多くの地点で既往最高雨量を更新する記録的な大雨となり、岩淵水門(上)水位観測所(東京都北区)では戦後3番目となる水位を観測し、岩淵水門を12年ぶりに閉鎖した。

気象庁は、この令和元年台風第19号を1977年(昭和52年)9月の沖永良部台風以来、42年ぶりに「令和元年東日本台風」と命名した。

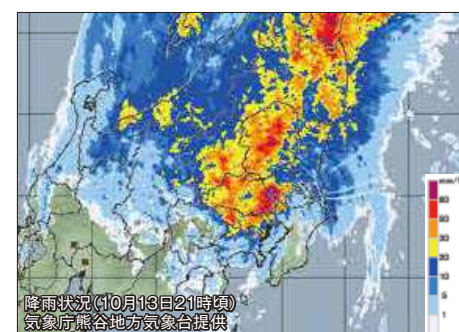


令和元年東日本台風に伴う降水量

■アメダス積算降水量分布図(10月10日0時～10月13日24時)



■レーダー観測に基づく降水強度



戦後
1番目の
雨量を
観測

■主要洪水(戦後)の流域平均雨量(笹目橋上流域)

	洪水	流域平均雨量
1	令和元年東日本台風	446mm/3日間
2	昭和22年9月 カスリーン台風	436mm/3日間
3	平成11年8月 熱帯低気圧	401mm/3日間

令和元年東日本台風に伴う荒川の水位状況

■主要洪水(戦後)の最高水位(岩淵水門(上)観測所)

	洪水	最高水位
1	昭和22年9月 カスリーン台風	A.P.+8.60m
2	昭和33年9月 狩野川台風	A.P.+7.48m
3	令和元年東日本台風	A.P.+7.17m

戦後
3番目の
水位を
観測



岩淵水門閉鎖状況

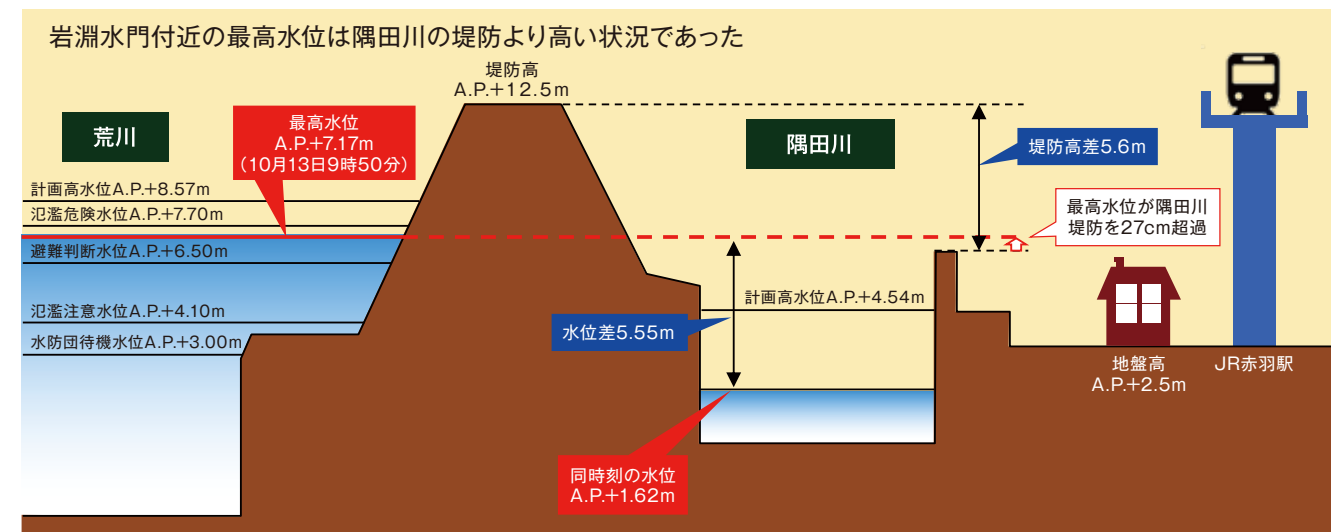
岩淵水門を閉鎖し、荒川の洪水が隅田川へ流入することを防止した。



※岩淵水門は、昭和57年の完成以降これまで5回閉鎖(平成3年台風第18号、平成11年熱帯低気圧豪雨、平成13年台風第15号、平成19年台風第9号、令和元年東日本台風)。

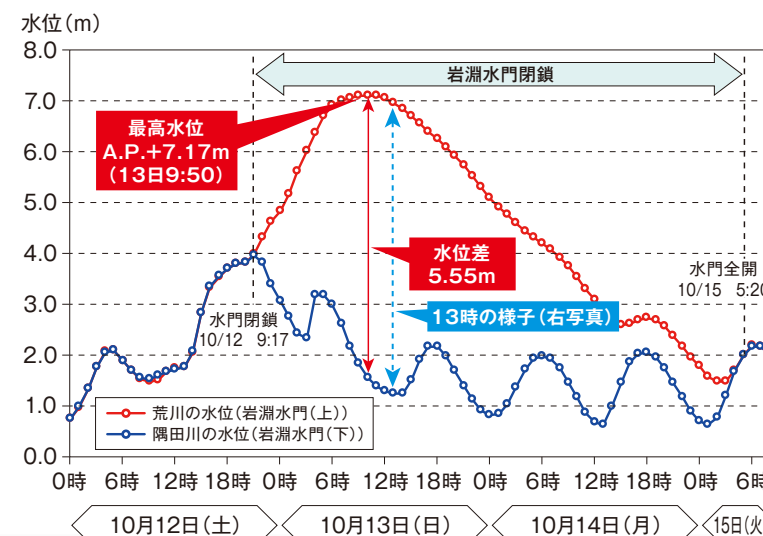
荒川の水位と隅田川の堤防高(岩淵水門付近)

岩淵水門を閉鎖していなければ、荒川の洪水が隅田川へ流入し、隅田川の堤防を越水し、氾濫した恐れがあった。



荒川と隅田川の水位状況

岩淵水門閉鎖後、荒川と隅田川の水位差は5m以上生じた。



荒川と隅田川の水位差状況
※写真は、13日13時頃の様子(荒川水位A.P.+7.01m、隅田川水位A.P.+1.27m)。